

# A Case of the Week

Case 434

## 右胃静脈還流異常

### 右胃静脈還流異常

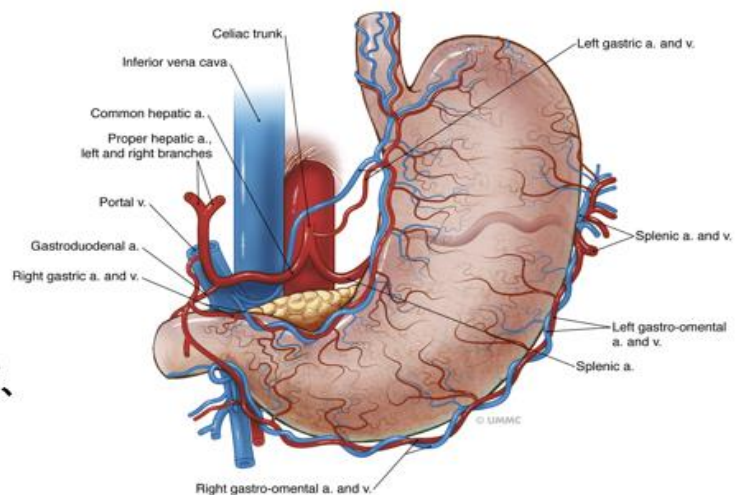
50代 男性  
過去にはCase 78

#### 通常分岐

左胃静脈は噴門部 左小弯  
から門脈本幹へ

右胃静脈は幽門 右小弯から  
門脈本幹へ

右胃静脈は門脈本幹に帰らず、  
直接肝に流出する場合がある  
---- **右胃静脈還流異常**



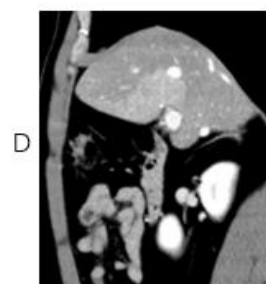
肝S4 背側に脂肪  
肝の免れる領域  
がみられる。

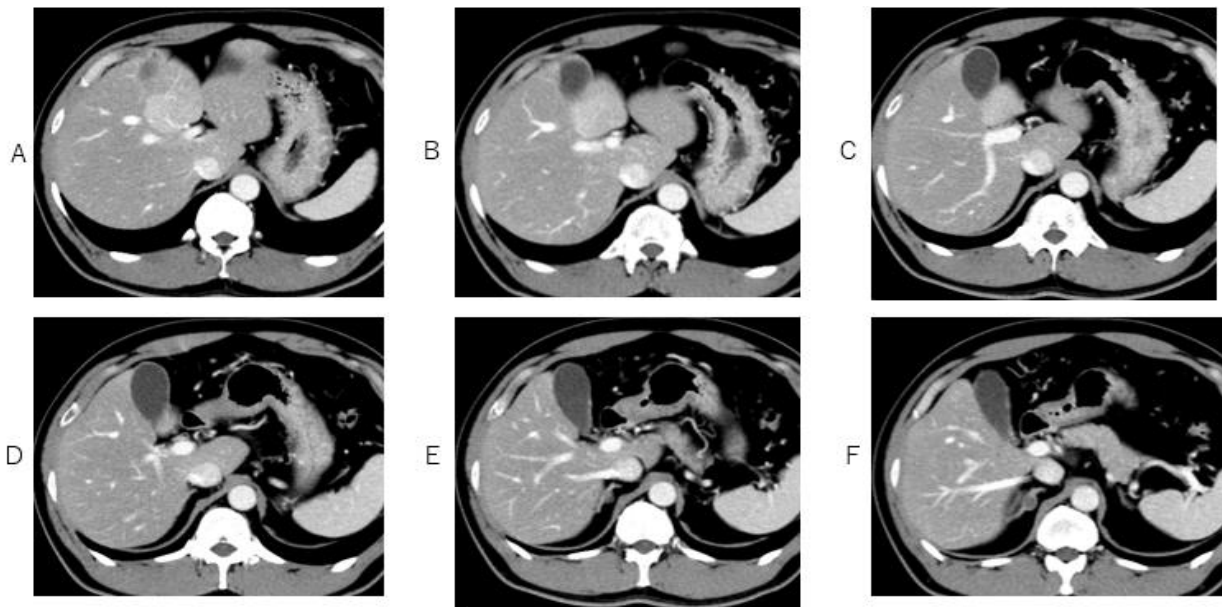


門脈相で、多血  
領域に血管が重  
なって描出され  
ている。

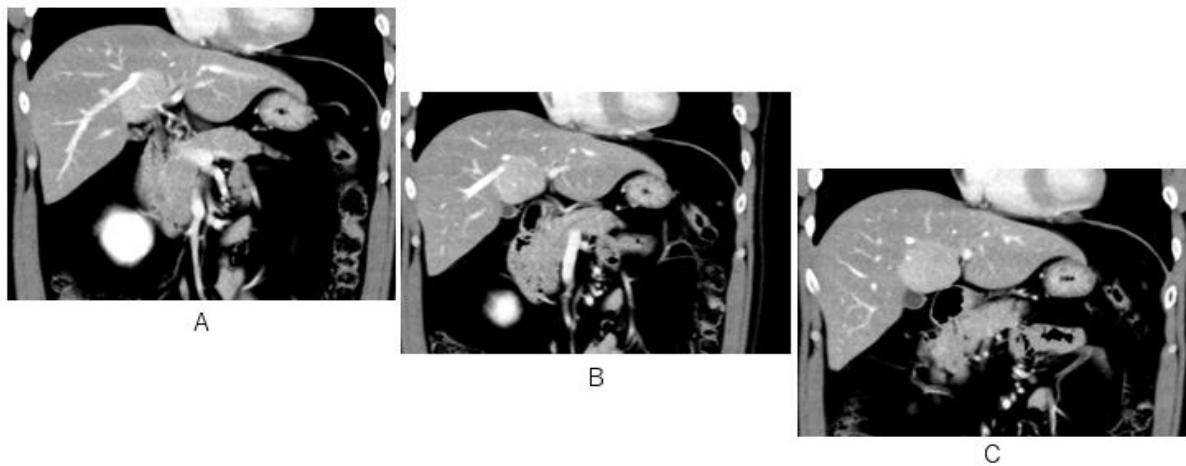


血管を追ってい  
くと右胃静脈と  
連続している。





多血域に重なる血管は、右胃静脈と連続しさらに左胃静脈とも連続している。即ち、小弯の胃静脈全体の血流がこの領域に還流している。



S4背側下部の多血域に重なる血管は右胃静脈と左胃静脈と連続しており、小弯の血流全体がS4の肝に直接還流していることが示唆される。

2016年7月

【腹部超音波検査】

高度脂肪肝

肝腫大

肝血管腫

軽度脾腫

2017年7月

NAFLD

糖尿病、脂質異常症、逆流性食道炎、肝機能障害で平成24年より近医に通院中。アルコールを多飲していたが、禁酒しても肝酵素の低下がないため、精査目的でご紹介。アルコール：缶ビール2本×2/週⇒1~2回/月。たばこなし。

肝疾患の家族歴なし。運動は特にしていない。通勤は車。事務職。

【内服】タケプロン、グラクティブ。DHCをのんでいる（15年3月ごろから）

【体重歴】58kg（18歳）⇒70kg（20歳）⇒82kg（40歳ごろmax.）

⇒71kg（45歳；ダイエット）⇒78kg（現在）

HOMA-IR=4.77

血圧：120/81 脈拍：88

体重：75.2kg（7月）←76.90kg（5月）←81.2kg（3月）←79.9kg（17年1月）

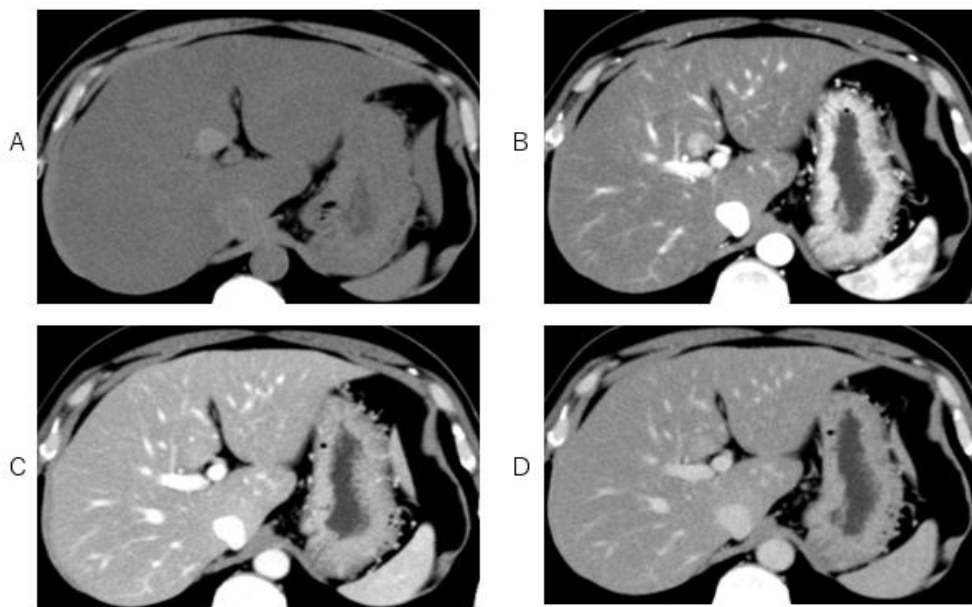
←79.1kg（9月）←78.5kg（7月）←80.7kg（4月）←79.0kg（16年1月）

←79.0kg（11月）←79.7kg（10月）←79.6kg（8月）←78.0kg（15年7月）

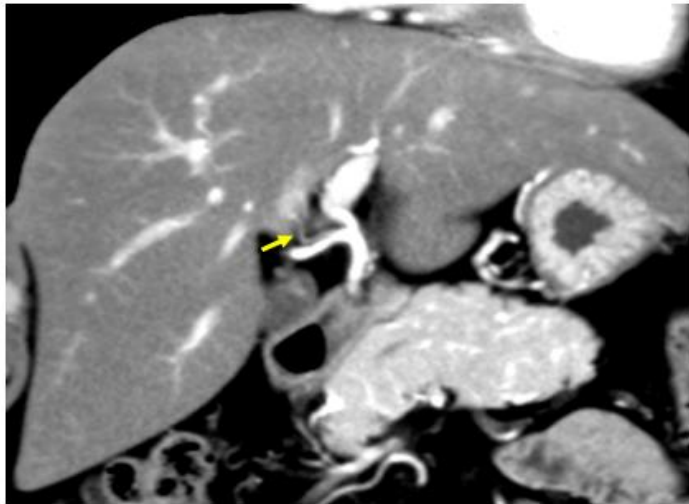
【腹部超音波検査】

脂肪肝

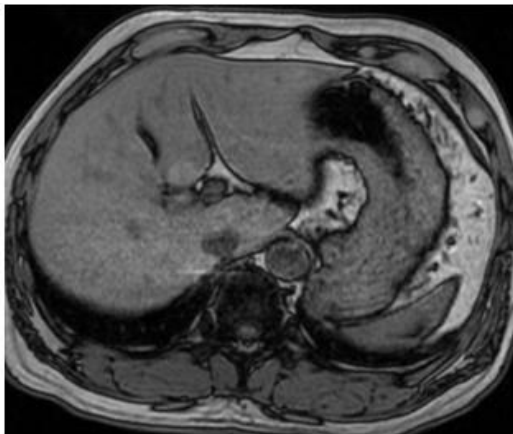
肝S4にφ21×13mmのhypoechoic mass：血管腫疑い



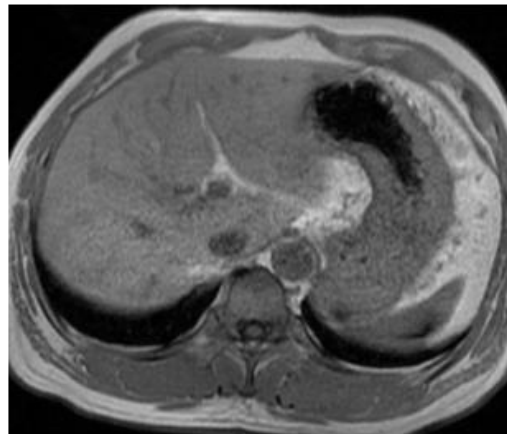
右胃静脈が肝S4の脂肪肝の免れている領域（A）に直接流出している（B）。遅延相になるにつれ、濃染の持続が認められる（C,D）。



冠状断で右胃静脈がS4に直接流出している。  
S4に濃染域が認められる。



A



B

T1WI out of phaseでS4の一部分だけ信号低下を免れている (A)。  
T1WI in phaseでS4を含めて肝全体はほぼ1様な信号である (B)。

